

## 令和6年度 第3回 大阪市立野中小学校園 学校協議会 実施報告書

校園名 野中小学校

校園長名 打川 和美

日 時	令和7年2月28日（金） 18:00～19:00	
場 所	野中小学校 3階 図書室	
出席者	委員など	小澤 明（会長） 春本 良子（委員） 辻川 松子（委員） 藤村 卓樹（委員） 石田 雅明（委員） 新田 歩美（委員）
	校園	打川 和美（校長） 金子 俊彦（教頭）
	区役所	南野 昌也（生活支援担当課長）
議題	(1) 開会の言葉 (2) 会の成立 (3) 区役所より連絡 (4) 運営に関する計画について（最終報告） (5) その他 (6) 閉会のあいさつ	
協議要旨	協議の結果	
	(1)	○開会の言葉
	(2)	○会の成立の確認。 委員5名中5名出席。
	(3)	○区役所よりお知らせ。
	(4)	令和6年度運営に関する計画最終報告について報告し、承認が得られた。 ○「安心・安全な教育の推進」についての2つの取り組み「安心・安全な教育環境の実現」「豊かな心の育成」と、それぞれの達成状況の説明を行った。
		・不登校児童の話を聞くと、家庭的な影響が大きいと感じる。学びの保障を、家庭と連携して進めていってほしい。 ・反復横跳びの結果が低いが、瞬発力が低いということだろうか。体力や運動能力については、二極化が進んでいる。習い事でスポーツをしているかどうかがそこに影響してくる。おにごっこをして外で走り回ることが少なくなってきてることもそこに影響していると考える。遊びを通して、体力の向上を図れるといい。いわれてやるより、好きでやるように工夫が必要。休み時間の遊びについて考えてほしい。
		・地域のスポーツクラブに入っていない女子が多いのは、地域に受け皿がないからではないか。子どもたちのニーズと地域のスポーツクラ
		○「未来を切り拓く学力・体力の向上」についての2つの取り組み「誰一人残さない学力の向上」「健やかな体の育成」と、それぞれの達成状況の説明を行った。
		○「学びを支える教育環境の充

	<p>実」についての3つの取り組み「教育DX」「生涯学習の支援」「家庭・地域等との連携・協同した教育の推進」と、それぞれの達成状況の説明を行った。</p>	<p>として現在あるものがずれているのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスポーツクラブ指導者不足が地域のスポーツクラブが少ない原因の一つにある。以前は、キックベースボールのクラブがあつたが、指導者不足でなくなってしまった。半面、サッカーなどのクラブチームに入る児童は増えている。保護者の要望が多様になり、地域で大人が子どもを育んでいこうとする活動とはずれているところがある。ボランティアで行うには限界があると感じる。</li> </ul>
(5)	<p>○その他 来年度の大坂万博について様々な情報をもとに思案していることの理解を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万博への参加不参加は、子どもの目線に立つてみてほしい。千里の万博のことを今も覚えている。安全に行けるかどうかに心配があるなら地域もPTAも手伝う。</li> <li>・万博に行ってほしいと思うが、パビリオンに1つしか行けないし、どんな状況かも分からないので、学校として行くのは大変だと思うから家庭で行けばよい。行きたいところにいけないのもどうかと思う。</li> <li>・テストランには、地域の代表の人も呼ばれている。</li> <li>・いろいろな情報をもとに、最終は学校で判断したらいい。</li> </ul>
(6)	○閉会の言葉	
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和6年度 大阪市立野中小学校 第3回学校協議会次第</li> <li>○令和6年度 運営に関する計画（最終報告）</li> <li>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果</li> <li>○学校生活アンケート（前後期）結果</li> <li>○保護者アンケートの結果</li> </ul>	
備考	<p>傍聴者[ 0 ]名</p> <hr/>	